

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公開番号】特開 2018-111508 (P2018-111508A)

【公開日】平成 30 年 7 月 19 日 (2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報 2018-027

【出願番号】特願 2017-2447 (P2017-2447)

【国際特許分類】

B 6 5 B 35/44 (2006.01)

G 0 6 M 7/00 (2006.01)

A 2 3 L 13/00 (2016.01)

【F I】

B 6 5 B 35/44

G 0 6 M 7/00 3 0 1 B

A 2 3 L 13/00 E

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 18 日 (2019.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

投入コンベアの無端軌道の先端部を横切るように物品確認センサーを配置すると共に、無端軌道の側部に不足した物品を補充する補正用カウントコンベアを配置した、ことを特徴とする請求項 1 に記載の物品計数投入装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

前記のような物品計数投入装置 1 の構成により、無端軌道 3 を構成するリテーナ 2 は、計数する物品が嵌まり込む計数穴 7 が偶数個と奇数個とに形成されたものが互い違いに連続的に連結され、前記無端軌道 3 のリテーナ 2 の上部に、計数穴 7 に物品が嵌まり込むのを妨げる個数変更用のカバー部材 10 が着脱可能に備えられ、物品の個数に応じて、前記駆動機構がリテーナ 2 の必要なピッチ分だけ無端軌道 3 を回転させて、偶数、奇数いずれの個数でも物品を投入ホッパーに投入することができる。さらに、駆動機構が無端軌道 3 をリテーナ 2 の複数ピッチ分だけ回転することができるため、投入コンベア 4 の幅を小さくすることができる。